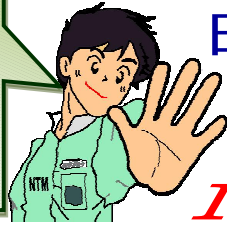


私たちは許さない!
日航の子会社つぶし



日東整争議を
勝たせる会
NEWS

No.005 2012.9.8
発行:日東整争議を勝たせる会
連絡先:航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
mail: honbu@kohkuren.org
TEL03-3742-3251 FAX03-5737-7819

第1回目、裁判宛署名提出・要請行動等報告

署名 3519 筆、公正な判決を要請

9月7日 11時から東京地裁民事36部に対し、日東航空整備の不当解雇事件の公正な判決を求める要請書(要請署名)3519筆を提出し、要請を行いました。

要請行動には原告の泉・佐藤さん、日航ユニオン諏訪書記長さんはじめ13名が参加し、日航の対応などを含め、不当な解雇を撤回できるよう公正な判決が求められている事を訴えました。

第2回裁判以後、主な取組の報告

原告たちは、連日活動をしていますが、二人の活動報告の中から、そのいくつかをトピックス的に取り上げてました。

7/26 日東整破産の債権者集会

東京簡易裁判所で行われた集会の出席者は、破産管財人1名、裁判官1名、桜島日東整社長と代理人が男女各1名、その他の債権者8名(JALの労務らしき3人含む)と日東整争議関係者は小林・黒澤弁護士、佐藤、泉でした。10時~11時まで弁護士会館の前で宣伝行動を行いました。

実質的に日東航空整備(株)は消滅しました。日東整争議争議団・航空連同対策会議では弁護士とも話し合い、被告である同社を裁判から外すことを確認し、手続きをとることにしました。

7/30 全労連定期大会

争議団紹介があり、日東整争議団含む27争議が参加しました。争議の早期解決をめざす特別決議が採択されました。

東京地評9.20争議支援総行動のオルグ

8月2日、29日2次のオルグを実施し、日東整争議については署名を広げて取り組んでいただくようお願いしました。パンフ8冊売れました。

8/9 JAL原告団国民支援共闘主催「日航本社前宣伝行動」

日東整ビラも折り込みで配布しました。今回は、

株式上場前に日東整争議も含めて全ての争議を解決してから上場すべきと、JAL本社への要請を文書で行いましたが、相変わらずの門前での対応でした。参加者は110名。(佐藤)

8/10(羽田空港第1ターミナルビル前宣伝行動)参加者25名。JALの乗員訓練生でAIRDO乗員として再就職された方から「JALの更生・再建の中で、私達と同じ様に犠牲になったことに同情します。頑張って下さい」、JALの株主の方から、「今回の再上場は許せない。JALを許せないという点では同じなので頑張って下さい」などの激励を受けました。(佐藤)

8/13 有楽町JALプラザ前宣伝

猛暑の中でビラ700枚配布。参加者は当該2名、航空関係39名、東京争議団から事務局長と明乳争議団などが参加、合計44名。JAL側も5、6名と警備員が出ていました。JAL以外の参加者をチェックメモしているのがわかりました。(泉)

8/21 成田宣伝行動

正式にJAL原告との共同行動は初めてです。日東整原告2含め11団体34名で900枚を配布。

8/29 東京地評争議支援総行動の2次オルグ

私は生まれ育った江東区を初めてオルグしました。どこも、「整備会社を潰す」JALは酷いですね、飛行機自体の安全は大丈夫なのですか」と聞かれ、「争議は大変でしょうが頑張って下さい、応援します」と励まされました。(泉) 以上